

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

専修 大学 中野ゼミ B パート

2

部門番号

部門名

経済政策

テーマ

経済・財政一体改革の推進

サブテーマ

消費税引き上げについて

趣意文

現在の我が国の消費税の現状と使い道。

消費税増税の現在までの道のりを研究した上で、第八回経済財政諮問会議より消費税引き上げ分の使い道、見直しについての必要性、これからの消費税の道のりについての思案。

他の増税の必要性とこれから必要な経済政策

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央大学

佐藤拓也ゼミ

A パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ

日本の格差について

サブテーマ

消費を中心に格差問題を考える

趣意文

現在の資本主義社会において、所得をはじめとする様々な格差が存在しており、昨今では政策の影響による格差の拡大という見解もある。具体的に述べると、金融緩和が資産格差を拡大させているという批判や、所得増税や累進課税などの税制の変更や労働組合の弱体化が格差を拡大させているという見方等である。以上のように、政策を行うことによる様々な影響が格差を助長しているという事実認識のもとに、このテーマ設定を行った。

ひとくちに格差といっても、資産格差や所得格差、消費格差などがある。何を基準にして格差問題を考えればいいのかを明らかにした上で、日本の格差の現状を考察していきたい。現段階で、私たちは以下のように考えている。格差が問題になるのは、豊かな生活を送れる人とそうでない人で、生活水準に差が生じてしまうからである。しかし、どのような生活を送れるかは収入や資産の額ではなく、消費をどのくらいしたかで決定される。そこで、所得や資産だけでなく、特に消費を基準にして格差問題を考えていきたい。

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

中央大学

佐藤拓也ゼミ

D パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ 地域間格差

サブテーマ ふるさと納税による経済的効果

趣意文

現在、日本では東京に人材やお金を集める東京一極集中化が進んでおり、そのため東京と地方の格差が生じている。そうした今日でも広がる東京と地域との格差の対策として、ふるさと納税に経済的効果があると考えられているが、実際はどうであるか考えたい。

- ・ふるさと納税とは何か
- ・ふるさと納税に実際は経済的効果があるのか
- ・ふるさと納税によって地域間格差が縮まるのか など。

これらの諸論点を踏まえて、具体的には、ふるさと納税で寄付金額が多い上位県に注目し、考察する。

## 2 テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

國學院大学 根岸毅宏ゼミ 柿沼班 パート

2

部門番号

部門名

経済政策論

テーマ

金融緩和について

サブテーマ

金融緩和は今の日本の経済政策として有効なのか

趣意文

アベノミクスの金融緩和政策は、リフレ派・反リフレ派として知られるように賛成と反対で意見が分かれている。私達は、この2つの分かれる意見を手がかりに、金融緩和政策により日本経済の成長は可能か検討する。

日本経済においては、積極的な金融緩和政策が実施されているが、未だに2%のインフレ目標を達成できず、このままではアベノミクスの目標であるGDP600兆円という経済成長を実現することは困難と言える。こうした状況をもとに、リフレ派・反リフレ派が議論しているが、その議論の中身をみると、両者の論点が異なることがわかる。

そこで、私達は、人口減少社会での経済成長の実現という課題を設け、経済成長の原動力になり得るものを探した。日本経済を長期的に見ると、少子高齢化がさらに進行し、経済成長率は低下する傾向にある。金融緩和政策のみでは、経済成長が実現することは困難であると考えられるため、経済成長の原動力として、AIやベーシックインカムを導入を検討する。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

神奈川 大学 清水俊裕 ゼミ チーム舟木一夫

パート

2

部門番号

部門名 経済政策論

テーマ 地方都市のまちづくり

サブテーマ 都市部の人口集中緩和について

趣意文

近年、地方都市の人口減少とともに都市部への人口流出が顕著に見受けられるようになってきている。それに伴って地方から若年層の女性が離れている。これはさらなる人口減少を引き起こす要因となりうる。

そこで我々は、都市部への人口集中を緩和するための方策について議論したい。具体的には、地方での就労を喚起するための方法や、都市部から人々を移動させるための方法について考えていきたい。